



2016年10月3日

各位

日立キャピタル株式会社  
執行役社長 川部 誠治  
(コード番号:8586)  
(上場取引所:東)

## 親会社の異動、その他の関係会社の異動に関するお知らせ

日立キャピタル株式会社(執行役社長:川部 誠治/以下、日立キャピタル)は、2016年5月13日付公表資料\*1でお知らせいたしましたとおり、株式会社日立製作所(以下、日立)が保有する日立キャピタルの普通株式の一部について、日立から株式会社三菱 UFJ フィナンシャル・グループ(以下、MUFG)及び三菱 UFJリース株式会社(以下、三菱 UFJリース)へ、それぞれ日立キャピタルの株式26,884,484株(議決権所有割合23.01%)及び4,909,340株(議決権所有割合4.20%)の譲渡(以下、本株式譲渡)に向けて準備を進めてきましたが、本日、本株式譲渡が実行されましたので、お知らせいたします。

本株式譲渡により、日立キャピタルは、日立及び MUFG それぞれの持分法適用会社となります。また、本株式譲渡の完了に伴い、日立キャピタルは、三菱 UFJ リースの株式26,678,000株(議決権所有割合3.00%)を市場にて取得していく予定です。

日立キャピタルは、2016年8月に①三菱 UFJリースとの2社間での事業領域の拡大及びソリューション力を含めた金融サービス機能の強化の実現をめざした業務提携契約\*2、②インフラプロジェクトに携わる日本の機器メーカー及びエンジニアリング会社への貢献をめざした、三菱 UFJ リース、日立、MUFG 及び株式会社三菱東京 UFJ 銀行との5社間でのオープンな金融プラットフォームに関する業務提携契約\*3をそれぞれ締結し、協業に向けて取り組んでいます。

今後、日立キャピタルは、一連の業務提携により、金融サービスにとどまらず、新しい価値を創造し提供し続ける「社会価値創造企業」として、グローバルな事業領域のさらなる拡大を図るとともに、日立が注力する社会イノベーション事業への貢献を通じて、持続的成長と企業価値の向上をめざしていきます。

\*1 2016年5月13日付公表資料『日立キャピタルの持続的成長を目的とした業務提携及び資本提携、株式の売出し、親会社の異動、その他の関係会社及び主要株主の異動に関するお知らせ』

<http://www.hitachi-capital.co.jp/hcc/ir/pdf/20160513.pdf>

\*2 2016年8月3日付公表資料『日立キャピタル株式会社及び三菱 UFJ リース株式会社の業務提携に関するお知らせ』

<http://www.hitachi-capital.co.jp/hcc/ir/pdf/20160803.pdf>

\*3 2016年8月29日付公表資料『金融プラットフォームに関する業務提携について』

<http://www.hitachi-capital.co.jp/hcc/ir/pdf/20160829.pdf>

■日立キャピタルの親会社、その他の関係会社の異動

1. 異動年月日

2016年10月3日

2. 異動前後における当該株主の所有する議決権の数及び議決権所有割合

(1) 日立

	属性	議決権の数(議決権所有割合) (所有株式数)			大株主順位
		直接所有分	合算対象分*	合計	
異動前 (2016年3月31日現在)	親会社	683,784 個 (58.51%) (68,378,420 株)	24,472 個 (2.09%) (2,447,204 株)	708,256 個 (60.61%) (70,825,624 株)	第1位
異動後 (2016年10月3日現在)	その他の 関係会社	390,318 個 (33.40%) (39,031,800 株)	0 個 (0.00%) (0 株)	390,318 個 (33.40%) (39,031,800 株)	第1位

\* 間接所有分の日立キャピタル株式は、株式譲渡実行日まで(同日を含みます。)に日立に移転されております。

(2) MUFG

	属性	議決権の数(議決権所有割合) (所有株式数)			大株主順位
		直接所有分	合算対象分	合計	
異動前 (2016年3月31日現在)	—	—	—	—	—
異動後 (2016年10月3日現在)	その他の 関係会社	268,844 個 (23.01%) (26,884,484 株)	—	268,844 個 (23.01%) (26,884,484 株)	第2位

以上